

【禁忌・禁止】

使用方法：

- ・再滅菌禁止。
- ・再使用禁止。〔再使用は、交差汚染、機器損傷及び性能低下等の危険性を引き起こすおそれがある。〕

併用機器：「相互作用の項参照」

- ・本品は MR Unsafe であり、MR 検査は禁忌とする。
- ・スタイレットを切断して長さを変更しないこと。
- ・二腔チューブ（気管支挿管用チューブ、気管挿管用チューブ）には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

〈概要〉

本品は、気管内チューブを安定させ、声帯の通過を容易にするために用いるスタイレットであり、単腔式気管内チューブを用いて患者に経口挿管を行う際の補助器具として使用する。本品には、通常の経口気管挿管を補助するためのスタンダードな「スタイレット」と、困難な経口気管挿管を補助するためのハンドル付きの「リジッド スタイレット」の 2 タイプある。本品は滅菌済みの単回使用医療機器である。

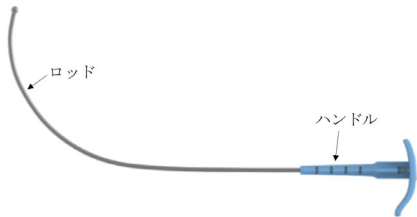
〈形状・構造等〉

- ・スタイレット

原材料：アルミニウム、ポリ塩化ビニル、
アセチルクエン酸トリブチル
サイズ一覧

サイズ	全長(mm)
6 Fr	225
12 Fr	405
15 Fr	365
12 Fr	700
15 Fr	700

- ・リジッド スタイレット



原材料：ステンレス鋼、ABS 樹脂

サイズ：中サイズ、大サイズ

〈原理〉

本品はロッドを気管内チューブに挿入することにより、気管内チューブを安定させ、挿管を容易にする。

【使用目的又は効果】

本品は気管内チューブを安定させ、声帯の通過を容易にするために用いる。

【使用方法等】

1. 使用する気管内チューブに適したサイズのスタイレットを選択する。
2. 滅菌包装を開封し、スタイレットを気管内チューブに挿入する。
 - ・スタイレット先端が気管内チューブ先端から 1～2 cm 内側に位置するようにすることで、チューブ先端の柔軟性を保つことができる。
 - ・必要に応じて、スタイレット外側端をフック状に曲げてから挿入してもよい。
3. スタイレットを挿入した状態で気管内チューブに所望の形状を付与し、通常の喉頭鏡操作により挿管を行う。
4. 気管内チューブが適切に配置された後、スタイレットを慎重に抜き、廃棄する。
5. 気管内チューブの位置が適正であることを確認する。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. スタイレットの抜き時に不注意があると、気管内チューブが誤って抜きされるおそれがある。
2. 本使用方法に従わない場合、または使用者が必要な技能を欠く場合、気管、喉頭、その他軟部組織の損傷を引き起こすおそれがある。
3. 経口気道挿管のみに使用すること。

〈その他の注意〉

1. 使用前にスタイレットを点検し、損傷がある場合は使用せず廃棄すること。
2. 使用する気管内チューブに適合するスタイレットサイズを選択すること。
3. 挿入・抜き時にスタイレットまたは気管内チューブ表面を損傷しないよう注意すること。
4. スタイレット先端が気管内チューブの患者側先端より突出しないようにすること。
5. 気管内チューブにマースキー孔がある場合、本品がマースキー孔から出ないように注意すること。
6. スタイレット抜き時には、気管内チューブの位置がずれたり、機器側端コネクタに引っ掛けたりしないよう注意すること。

7. 本品と併用可能な気管内チューブについては、販売元に問い合わせること。

〈相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）〉

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状 ・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）	MR 検査禁忌	本品は MR Unsafe である。
二腔チューブ （気管支挿管用チューブ、気管挿管用チューブ）	併用禁忌	本品二腔チューブに使用することを想定していない。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて室温で保存すること。

〈有効期間〉

有効期間はラベルに記載している。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〈製造販売業者〉

業者名：株式会社 I C S T

T E L ：048-857-8026

〈外国製造業者〉

業者名：Flexicare Medical Ltd.

国 名：英国